

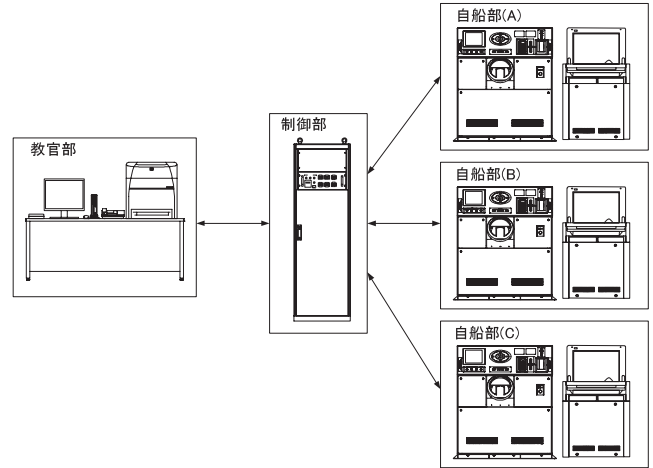
レーダーシミュレータ JGN-103 Radar Simulator (3 own ship type with ARPA) JGN-103

1. 概要

レーダーシミュレータ (JGN-103) は、当社レーダー指示機を使用してレーダー観測技能を訓練するためのシミュレータである。STCW (Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers) 条約に準拠した船員資格を取得するために必要不可欠なシミュレータであり、本装置ではさらに自船数を3隻に拡張すると共に、AISのシミュレーションも行っている。

2. 特長

- (1) 当社最新レーダー指示機を使用
生徒が操作するレーダー指示機は、IMOの公式認可を受けた当社製最新式のものであり、操作方法、映像の表示、処理速度、誤差に至るまで全て実際に船で使用している感覚で訓練が可能である。
- (2) アナログ計器を使用
回転羅針盤、舵輪、風速計、風向計など実際に船で使用することが多いアナログ計器を使うことによって違和感なく航行訓練が可能である。
- (3) 電子海図の利用
オリジナルデータを作成するのではなく、一般に市販されている電子海図であるENCを使用することで海岸線データの信頼性が増し、アップデートによる最新性の維持が可能である。
- (4) AISへの対応
各他船に設定されたAISデータをレーダー指示機に送信することでレーダー指示機上にAISシンボルを表示させることが可能である。また、当社製AISコントローラを接続することで自船のAISデータ設定訓練も可能である。
- (5) メンテナンス訓練の充実
レーダー指示機のパフォーマンスモニタ機能に対応し、レーダー指示機上での受信感度調整の訓練が可能である。



システム構成図
System configurations

海岸線映像	7 海域
ブイ	海岸線データに重畳+任意50個
マーカー	1 局/海域
レーダー干渉	2 パターン
アンテナ死角	3 箇所
偽像	3 種類
SART信号	他船50隻中任意の船より発生
海流 (潮流)	方向0~359°, 速度0~9.9kt
風	方向0~359°, 速度0~99m/S
海面反射	2 パターン
雨域	移動方向0~359°, 速度0~9.9kt
受信雑音	常時発生
自船運動モデル	9 種類
AIS	船名, コールサイン, MMSI番号など
故障模擬	レーダービデオ減衰, GPS通信断など
環境条件	
温度	+15~+30°C
湿度	45~80% (結露無きこと)

3. 仕様

訓練海域	緯度	80度S ~ 80度N
	経度	180度W~180度E
模擬船数	自船	3 隻
	他船	50隻
ビーコン		4 局/海域

お問合せ先 海外営業部 第二営業グループ
電話 0422-45-9890